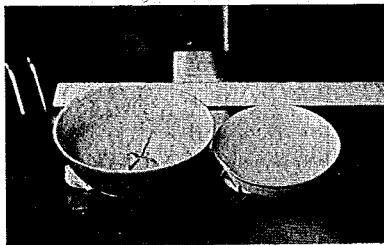


小口の平道跡から発掘された縄文土器



滝谷町地内から発掘された須恵器

同じく「地名辞書」に——
程島、今、金津村の大字とす。此の里の丘上に
古津、今金津
丘陵地帯から縄文土器
われ、縄文時代後
期のものです。周辺からは、
縄文中期の土器も出土して
います。これらの土器は、
縄文中期前葉で四千五百年
前、後期前葉で二千五百年
前と推定されています。
このほか平地からは約一
千年前の須恵器が発見され
ており、また滝谷町地内か
らは、窯跡も発見されてい
ます。
これらの土器は、新津の
古代を知るうえで重要な手
がかりを提供してくれています。
市内で発見した土器や石器
をお持ちの方は、市史編さん
室（☎41-5599）へ
ご連絡ください。



市史編さん資料や、それ
にまつわるエピソードなど
を紹介する欄を設けました。
毎月十五日号に掲載してい
く予定です。

吉田東伍博士の「地名辞
書」に——

丘陵地帯から縄文土器

南三十稲葉式とい
え、同時に発掘された

百舟の泊てし
新津の面影は
稲葉の浪に
今も浮べり
と詠じけるも、畢竟感想
のみ（以下略）
——とあり、上古、金津、
秋葉山の丘陵地帯の眼下が
広い海であったかどうかに
ついては、「津」の字を假れ
る地名なればとて、直に上
古の津、泊、港、湾と想う
は甚だ非なり。なお考うべ
し」としています。
また昨年には、小口の平
道跡で堅穴住居が発見され
ました。同時に発掘された
土器は三十稲葉式とい
え、同時に発掘された

畜生が原と称する辺、太
古の土器並に石器を拾う
べし（人類学雑誌）。

百舟の泊てし
新津の面影は
稲葉の浪に
今も浮べり
と詠じけるも、畢竟感想
のみ（以下略）

——と記されています。前
方に川あり、後方には山あ
りの新津のなだらかな丘陵
地帯には、人が住むための
条件が備わっていたらしく、
程島の団地が造成されたあ
たりからは、先住民が残
した縄文土器が発掘されて
います。

情緒安定のため に役に立ちます

さきごろ、財団法人BSN
教育文化振興基金が教育文化

振興のために、第一小学校の
情緒障害学級にエレクトーン
一台と野菜模型一組（二十五
万円相当）を寄贈してくださ
いました。ビッグなプレゼン
トを受けた「つくし
学級」の生徒たちは、
エレクトーンを取り
囲み、美しい音色に
じっと耳を傾けたり、
歌を歌ったりして、
楽しく音楽の勉強を
しています。



エレクトーンに合わせて歌う「つくし学級」の生徒

学校では、「子ど
もの情緒の安定を図
っていくうえで、大
変効果的ですよ」と
手放して喜んでいま
す。

お買物、ご用命は市内で

ご法要は略喪服で

紺・黒のジョーゼット

お仕立今なら間に合いますお盆まで…



センスとアイディア
洋装

きむら

新津市本町3丁目2番15号 ☎2-1495



ひときわいぎき、緑の表情
観葉植物各種取揃え
ご注文・お問い合わせは

（株）川名花店 本町3丁目
☎3-1167代へ